

# 2月 園だより

聖隷こども園夢舞台

園長 中野理恵

第83号

令和6年2月1日



暦の上では立春を迎えますが、一年で一番寒い時期です。中でも、日差しが温かく感じられる日も時々ありますね。子どもたちのパワーに負けないように私たちも元気に過ごしたいと思います。2月に入ると少しずつ一年の保育を振り返るような話が職員間で多くなってきます。

ハイハイで移動していた0歳児さんが、自分の足で園内を歩き回っています。自分の手や、つかんだ物を口の入れる「探索行動」という遊びから始まり、生きていく上でたくさんの感覚を学んできました。聖隷内のこども園・保育園では「保育学会」というものが毎年あります。いくつかのグループが研究発表をするのですが、今年度夢舞台では、「草花や実と遊ぼう」という題材で0歳児からできる自然遊びについて発表しました。その中で、落ち葉や枝を使って五感（視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚）をフルに使った遊びを紹介しました。発達段階によって遊び方も感じ方も違いますが、自分と友だちの存在に気づき、遊びを発展させています。

現代人は、この五感が鈍っているという記事を目にしました。五感と脳は密接な関係があり、五感が鈍くなると脳に疲れを引き起こすそうです。0歳児から五感を培うことで「感性」が磨かれます。たくさんの遊びからたくさんの学びを得て子どもたちは成長していくのだと感じます。

先日、3歳児クラスのAくんと滑り台を一緒にすべろうと階段を上りました。私はすぐに滑り台を滑ろうとしたのですが、Aくんは、上を見上げて「先生、お空きれいね」と言いました。五感の中で視覚が80%を占めている中でAくんは、文字や映像ではなく、いつでもどこにでもある空を見て脳を刺激しました。私に伝え気持ちを共有し私も一緒にしばらくお空をながめました。難しく考える必要はなく、ただ「ぶらぶら散歩」をし、道端にあるお花に気づき匂いを嗅ぐだけでも脳は、元気になります。脳が疲れる原因は情報過多な環境にあり、テレビやゲーム機器、タブレットなどの普及により子どもたちの生活は変化しています。もちろんそれらが必要なことも十分にありますが、乳幼児期の間は、子どもたちの成長に何が一番大事なのかを考え、大人の私たちもできるだけ五感を鍛えることを心がけていきたいですね。

## 2月 予定

2日	節分	17日	乳児懇談会
5日	礼拝・フッ化物洗口(4・5歳児)	19日	礼拝・フッ化物洗口(4・5歳児)
8日	カバウマコンサート(AM10:00~)	21日	英語であそぼう
15日	うさちゃん教室・お兄さんと遊ぼう	22日	石屋・浦・学習小体験入学

3月予定 1日 ひな祭り会 8日 お別れ遠足(お弁当は要りません)

16日 卒園式 詳細は後日お知らせ致します。

※保護者の皆様の意見を踏まえ、職員間で話し合いをした結果、41名全員の卒園式とさせていただきます。

## みんなで体を動かそう！！

寒い日が続いていますが、背中を丸めて室内で過ごすのではなく、みんなで体を動かそうとマラソンが始まりました！！

「さむ〜い」と言っていた子もしっかりと準備体操をしてスタートすると「走るの気持ちいい〜」に変わり、生き生きと走っていますよ♪走り終わった後、「もっと走りたい！」という声に保育者の方がタジタジです👉しっかりと体を動かして元気に寒い冬を乗り越えましょう！



1月13日(土)兵庫県漁業組合連合会さんと岩屋漁業協同組合さんのご厚意により、お魚教室が開催されました。3~5歳児24家庭の方々が参加してくださいました。

内容は「くぎ煮の巻きずし作り」ととても丁寧に巻き方を教えてくださったので、子どもたちも楽しむことができました。初めての方も経験者の方もみんな揃ってにぎやかな時間となりました。

「キュウリが苦手」と言っていた子も自分で巻いたお寿司は特別だったようでかぶりついて食べることができ、食育の大切さを改めて感じました。

食事のあとは「海苔には沢山の栄養がある」ことや「海を大切にしよう」お話をしてくださいました。SDGsにもつながる大切なお話だったので、他の子どもたちにも伝えていけたらと思いました。

ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。



## 防災訓練

1月17日に地震を想定した避難訓練を行いました。時間を知らせずに開始しましたが、日頃の訓練が活かされ、保育者の話を聞き速やかに避難することができました。余震に対しても落ち着いて対応できていました。

訓練後は、各クラスにて阪神淡路大震災の時の風景写真と共に震災の様子を伝え、現在も続いている能登半島地震の様子を話し合いました。災害が起きるとどうなるのか、何が足りなくなるのか、子どもたちも真剣に考える姿がありました。

その中で、水が出なくなることを知り、保育者も水の大切さをみんなに伝えたいと、ペットボトル水道を作成しました。水を流し続けたものと止めたものとの違いを目で見て確認し、「こんなに水減ってる〜」と子どもたちも驚いていました。これを機に水を大切に使う意味を知り、手を洗うときは止めたり、出しっぱなしになっているときは声を掛け合ったりと、意識が少しずつ変わってきたように思います。食べ物の配給が少なく、みんなで「炊き出し」をすることも知り、食べ物を大切に作る気持ちも持ってもらえたらと思います。



蓋を開けると水が出ます。閉めると止まります。

